

平成26年度 事務事業評価シート

事務事業名		中学校ふれあい学習				所管	教育委員会 指導課		
事務事業の概要	行政計画	なし	事業NO.		計画事業名	事業の開始・終了年度			
	長期総合計画体系	[基本目標]					[事業開始] 年度		
		[小 柱]					[終了予定] - 年度		
		[施 策]							
	根拠法令等	その他	[法令等名]	要綱等なし					
	事業対象	区内中学校							
	事業目的	地域の人材や教材を学校教育に導入し、地域社会への関心を深め、地域の一員としての自覚を促す。							
	事業内容	地域の人材にゲストティーチャーとして教育活動に参加してもらい、生徒が地域に興味関心をもつような授業等を行う。 中学校 全クラス年間2回							
委託の有無	なし	委託内容							
補助金の有無	なし								
事務事業の実績	種 別	指標の名称	(単位)	目標値 (27年度)	23年度	24年度	25年度		
	活動指標	実施数	(回)	100	386	365	107		
		成果指標	地域協力者数	(人)	80	400	400	80	
			参加児童・生徒数	(人)	2,300	8,196	8,597	2,330	
	決算額	(単位：千円)			(1,160)	(982)	134		
	事務事業コスト (単位：千円)	人にかかるコスト（人件費など）			(450)	(417)	170		
		物にかかるコスト（物件費・維持補修費）			(1,161)	(983)	134		
		その他のコスト（扶助費・補助費など）			0	0	0		
		総経費			(1,611)	(1,400)	304		
	財源項目 (単位：千円)	受益者負担額（使用料・手数料・負担金など）			0	0	0		
その他特定財源（国や都の支出金・財産収入など）			0	0	0				
一般財源（区負担額）			(1,611)	(1,400)	304				
前年度から改善した事項	前年度より引き続き適正な事業の実施に努めた。								
評価の視点	評価	評価の理由							
	必要性	3	地域に開かれた学校づくりの一環として、地域の人々との交流による教育は必要である。						
	効率性	3	ゲストティーチャーへの謝礼に係る経費であり、コストに大きな変化はない。						
	手段の適切性	3	地域社会の一員としての自覚や思いやりの心を育む機会として効果を上げている。						
	目的達成度	3	児童の道徳性・社会性の育成とともに、地域への関心を高められた。						
[評価の理由]（区民生活への影響を十分考慮すること）					評価結果	今後の方向性	拡大 改善 維持 縮小 廃止・終了		
生徒の道徳性・社会性の育成とともに、地域に開かれた学校として特色ある教育活動の展開を支援するため、引き続き実施していく。						維持			